



## ≪ 校訓 ≫ 従順 勤勉 愛徳 (全国にある姉妹校共通の校訓です)

従順：真の自由を知るよろこび 勤勉：能力をみがき、役立てるよろこび 愛徳：互いに大切にしようよろこび

### 🍁 今年もよろしくお願ひいたします 🍁

2022年(令和4年)がスタートしました。1月に入り、オミクロン株の広がりとともに、新型コロナウイルス感染症の感染者数も急激に増加しています。特に最近の感染状況は、驚くほどのスピードで拡大していますので、より一層、感染対策へのご協力をよろしくお願ひします。

### ～今月の聖句～

たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても「内なる人」は日々新たにされていきます。(コリントの信徒への手紙Ⅱ 4. 16)

(放送朝礼でのマ・スールのお話も含めて)

「外なる人」「内なる人」とは、何を表しているのでしょうか。「外なる人」とは、外からの様々な刺激、「内なる人」とは、人々の心の状態と捉えてみると、現在のコロナ禍において、「外なる人」は、行事やイベント等も様々な制約を受け、中止や規模縮小等で力が弱まっている状態といえます。

その状況において、人々の中にある「内なる人」も、弱まっていきがちです。しかしながら、置かれた状況下で、できることを探りながら前向きに生活していこうという「内なる力」を私達は持っています。この「内なる力」は「希望(心のともしび)」です。

それでは、この「内なる力」=「希望(心のともしび)」はどこから湧き出てくるものなのでしょう。

これこそ神様が一人ひとりに注いでくださっている「神様の愛」なのです。神様からの愛のエネルギーを受けて、私達は「内なる人」の力を強くして「希望」を持って生きることができるのです。

1日も早いコロナの収束を祈りながら「私は神様に愛されて今ここにいる」ことを希望の源にして、2022年(令和4年)を過ごしていきたいものですね。

### ～生徒たちの頑張りを紹介します～

#### 〈剣道部〉

- ・県下高等学校剣道大会兼第31回全国選抜大会予選

**優勝** ※ 3月末、愛知県春日井市で行われる

全国選抜大会出場決定 おめでとう！！

#### 〈バレー部〉

- ・県下高等学校バレーボール大会(新人戦) ベスト8

#### 〈写真部〉

- ・第69回 ニッコールフォトコンテスト  
第4部(中高生の部) 入選 2年 村島さん

#### 〈吹奏楽部〉

- ・高文連吹奏楽部門 新人コンクール 金賞  
※熊本県総合文化祭パレード部門・吹奏楽部門  
代表出場権獲得

#### 〈吟詠剣詩舞同好会〉

- ・第32回郷土芸能代表選考会及び吟詠剣詩舞発表会  
1年 西田さん 出場  
※全国高等学校総合文化祭・熊本県高等学校  
総合文化祭 吟詠剣詩舞部門 出場権獲得

#### 〈韓国語〉

- ・第12回 話してみよう韓国語 熊本大会  
高校生スキット部門 奨励賞(3位)  
3年 松岡さん・嶽本さん

- ・第12回 歌ってみよう K-POP 熊本大会  
奨励賞(3位) 3年 御門さん・桑原さん

## 〈N I E (Newspaper in Education)〉

・第12回いっしょに読もう！新聞コンクール  
(夏休みに全校生徒で取り組んだコンクールです)  
熊本県賞 1年 大城さん 中村さん 瀧口さん  
本田桃華さん 2年 地内さん

学校奨励賞：新聞への取り組みに対して全校生徒に  
いただいた賞です。

### 1月25日は創立記念日です

八代白百合学園高等学校は、創立からこれまで、112年の歴史を刻んできました。当時の記録を見ると、1889年(明治22年)フランスのコール神父様が八代の殉教者の遺跡を探し、キリスト教の再興をはかるため熊本・八代に派遣されました。当時の八代は貧困から治療も受けられずに苦しんでいる人々が多かったため、人々を救済するためにシャルトル聖パウロ修道女会に協力を求め、医師の経験を持つスール・ウラリ(初代校長)と看護師のスール・アンジェ、日本人看護師マリ・ジョゼフ・小磯エイの3人が八代に派遣されました。到着するとすぐに、貧しい人々の病院「博愛医院」や身寄りのない子ども達の施設「ナザレ園」を作っていました。そして、次第に教育へと事業が拡大していき、「私立八代技芸女学校」が設立されました。1909年(明治42年)のことです。

コール神父様と3人のスール達の活動は、貧しく苦しんでいる人々のためにできること、つまり、「弱い立場の人々に寄り添う」という想いから始まっています。これは、現在も受け継がれている建学の精神です。

### ～ 学園の歴史 ～

1909年(明治42年)「私立八代女子技芸学校」として認可を受け、1910年(明治43年)4月には、スール・ウラリ校長のもと、スール・カタリナ片岡マサほか職員4名、生徒数41名でスタートしたと記されています。その後、大正時代には「私立八代技芸女学校」「八代実科高等女学校」「八代成美高等女学校」と組織変更させながら校名が改称されていき、1947年(昭和22年)に「八代白百合中学校」が設置され、翌1948年(昭和23年)に「八代白百合高等学校」が設置されま

した。そして、1951年(昭和26年)に「八代白百合学園中学校」・「八代白百合学園高等学校」に改称されていきました。中学校は1973年(昭和48年)に最後の卒業生を送り出しましたが、高校は現在の校名になってから71年を迎えます。これまで1万人を超える卒業生を輩出し、様々な分野で白百合の花を咲かせていらっしやいます。

ちなみに、聖パウロの回心の記念日である1月25日を学園の創立記念日にしています。

現在、スール・ウラリ校長・スール・アンジェル先生は八代市鷹辻町にあるシャルトル聖パウロ修道女会墓地から私達を見守り続けていらっしやいます。

校内では、コミュニケーションエリアに創立者のことをはじめ学園の歴史が展示されていますので、是非ご覧ください。

### ～ 斯華会について ～

本校同窓会の「斯華会(このはなかい)」は、「斯(か)くて華(はな)あり=学生時代に築いた人生の土台が、社会に出て華が開く」という意味で、1921年(大正10年)に当時の片岡マサ校長先生が命名されました。今年で命名101年を迎えます。

創立記念日に向けて、明治から平成の時代の変遷とともに学校が歩んできた歴史に思いを馳せ、この令和の時代を生きるみなさん達も、先輩たちからのバトンをしっかり受け取り、建学の精神を受け継いでいきましょう。

### ～ 3年生の皆さんへ ～

1月15日(土)、16日(日)に実施された、大学入学共通テストが終了しました。今後、大学の二次試験や一般入試が実施されていきます。体調管理をしっかり行い、これまで目標に向かって積み重ねてきた自分自身を信じて、最後まであきらめずに頑張ってください。皆さん達の健闘をお祈りしています。神様はいつも皆さんとともにいらっしやいますよ。

卒業に向けての準備も始まりました。八代白百合学園での高校生活を振り返り、素敵な笑顔で3月1日の卒業式を迎えられるよう祈っています。